



# 釧路市

市勢要覧2019

KUSHIRO



釧路市長 蝦名 大也

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し、「阿寒摩周」「釧路湿原」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれたまちです。国内有数の水揚げ量を誇る水産業、豊富な森林資源を有する林業、背後圏の酪農、畜産などの農業といった第1次産業や、大規模な食品・製薬工場や製紙工場、全国唯一の石炭の坑内掘稼行炭鉱などの第2次産業を中心に生産都市として発展してきました。

また、特別天然記念物「タンチョウ」や「阿寒湖のマリモ」など世界的にも貴重で魅力あふれる地域資源が評価され、国のプロジェクトである「観光立国ショーケース」や「国立公園満喫プロジェクト」に選定されるなど、国内外から本市への注目が集まっています。加えて、夏でも最高気温が20度前後と涼しく、避暑を目的とした長期滞在にも適しております。

地域産業の振興、地域資源の活用を支えているのが、国際バルク戦略港湾として整備が完了した釧路港、ひがし北海道初のLCCが就航したたんちょう釧路空港、JR根室本線などの鉄道網や現在整備が進む北海道横断自動車道であり、今後、阿寒インターチェンジ～釧路西インターチェンジ間が完成することによって、物流・人流機能のさらなる向上が期待されています。

生産都市として培ってきた強み、豊かな自然環境や多様な文化、ひがし北海道の拠点として発展してきた釧路の魅力や価値を次世代へと継承していくため、「つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路」を掲げ、さらなる飛躍を目指します。

# 目次

- P 3～・・・釧路市の概要
- P 6～・・・経済・産業
- P 8～・・・観光・港湾・空港
- P 9～・・・環境・衛生・医療
- P 10～・・・教育・福祉
- P 11～・・・歴史とあゆみ
- P 14～・・・交通アクセス

# 釧路市の概要

ひがし北海道のゲートウェイ釧路市

**位置** 東経 144°22'24"  
北緯 42°58'10"

**面積** 1,362.90km<sup>2</sup>

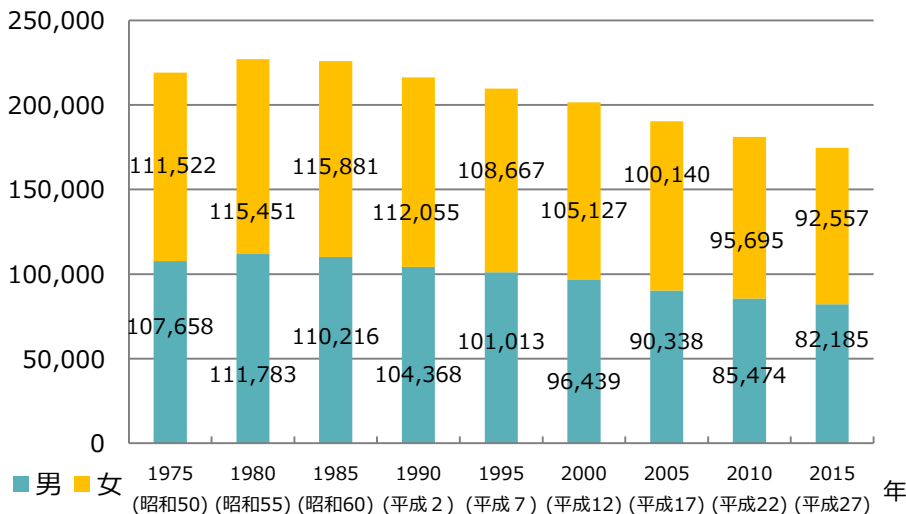
**市役所等**

- 釧路市役所  
釧路市黒金町7丁目5番地  
〒085-8505 Tel0154-23-5151(代表)
- 阿寒町行政センター  
釧路市阿寒町中央1丁目4番1号  
〒085-0292 Tel0154-66-2121(代表)
- 音別町行政センター  
釧路市音別町中園1丁目134番地  
〒088-0192 Tel01547-6-2231(代表)

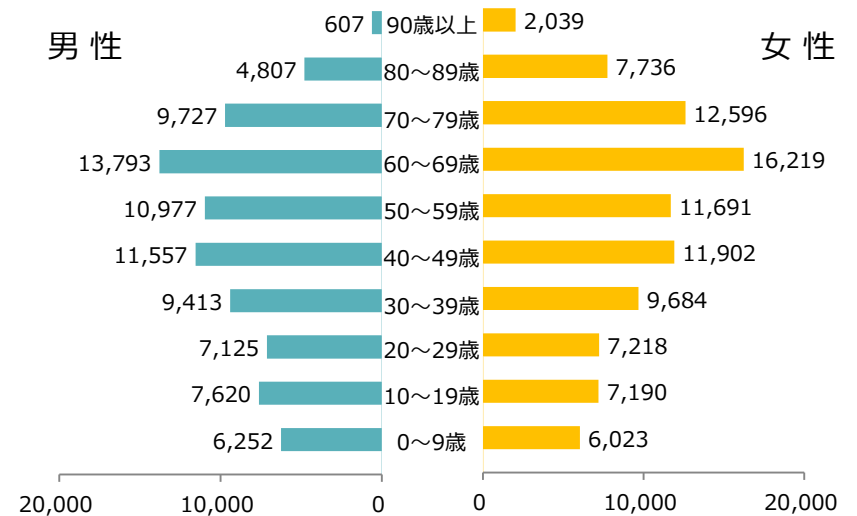


**人口** 168,730人 <2019年(平成31年)3月末 住民基本台帳>

● **人口の推移** <資料：国勢調査結果> (単位:人)



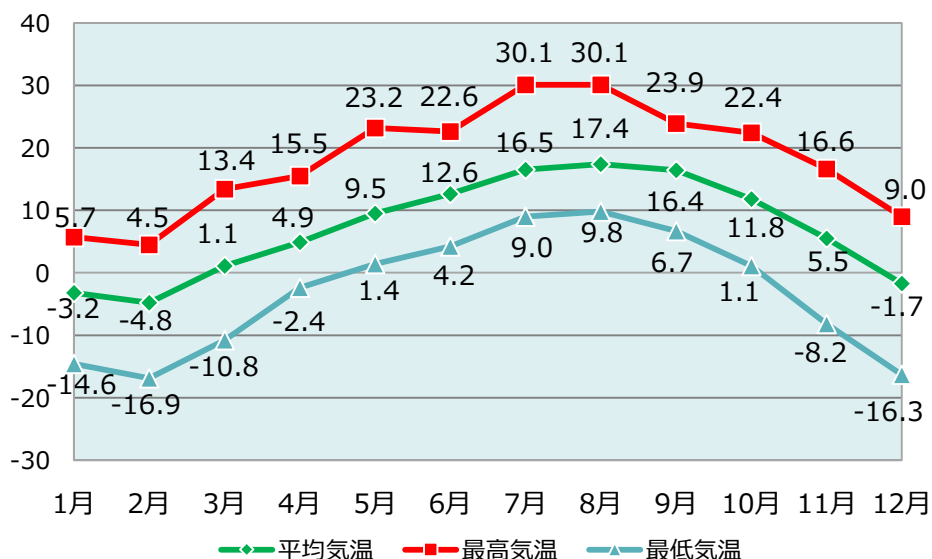
● **年齢別割合** <資料：平成27年国勢調査結果> (単位:人)



**気象** 梅雨がなく、夏は涼しく、秋冬は日照率が高く、降雪が少ないのが特徴です。

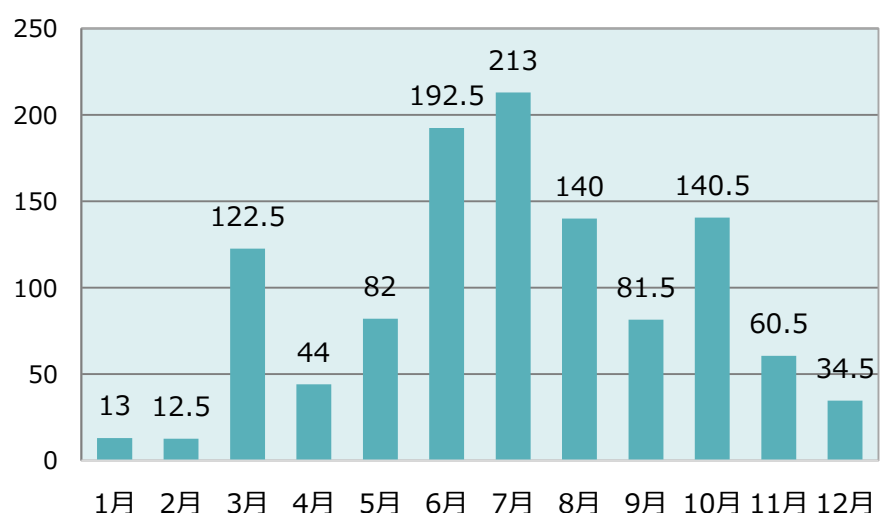
● **月別平均気温・最高・最低気温**

<2018年(平成30年)・資料：気象統計情報> (単位:℃)



● **月別降水量** <2018年(平成30年)・資料：気象統計情報>

(単位:mm)





釧路フィッシャーメンズワーフMOOと  
釧路市のシンボル、ウォーターフロント

## 釧路市民憲章

2006年(平成18年)10月11日制定

### 前文

わたしたちは、広野に丹頂が舞い、夕焼けが太平洋を染める釧路の市民です。

わたしたちは、先人の開拓精神をうけつぎ、生産都市を誇りとして、健康で明るく、豊かで文化の香り高いまちを築くために、この憲章を定めます。きょうを充実させ、あすを発展させるために。

### 本文

- 1、元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう
- 1、きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう
- 1、緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう
- 1、人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう
- 1、文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう
- 1、郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう

## 釧路市まちづくり基本条例

2015年(平成27年)10月1日施行

### 前文

釧路市は、原始の様相を今に伝える釧路湿原、母なる釧路川、特別天然記念物のマリモが生育する阿寒湖をはじめとする大小の湖沼、広大な森林などの厳しくも豊かな自然の恵みのもと、その自然と共生してきたアイヌの人たちや開拓のために移り住んだ人たちなどの長年の労苦と努力によって、東北海道の中核都市へと発展を遂げてきました。

私たち釧路市民は、「広野に丹頂が舞い、夕焼けが太平洋を染める釧路の市民です」とうたい出され、「生産都市を誇りとして、健康で明るく、豊かで文化の香り高いまち」を築くことを目指した釧路市民憲章を胸に、あすの釧路市がより輝くよう、次世代に引き継いでいく責任があります。

私たちは、皆で築き上げてきた歴史を誇りとして、まちづくりを自ら担う気概を持ち、まちづくりの主体としての役割を果たしていかなければなりません。

ともに考え、互いに認め合い、力を合わせてまちづくりに取り組み続けることで、人と人との絆きずなや支え合う心をより確かなものにし、喜びとやりがいを感じながら、安全で安心な心豊かに暮らせるまち釧路を築いていくために、まちづくりの規範として、この条例を制定します。

## 市の花

2006年(平成18年)10月11日制定



◆キンレンカ  
ノウゼンハレン科  
キンレンカ属



◆スズラン  
ユリ科  
スズラン属



◆エゾリンドウ  
リンドウ科  
リンドウ属

## 市の木

2006年(平成18年)10月11日制定



◆ハシドイ  
モクセイ科  
ハシドイ属



◆エゾヤマザクラ  
バラ科  
サクラ属



◆ナナカマド  
バラ科  
ナナカマド属



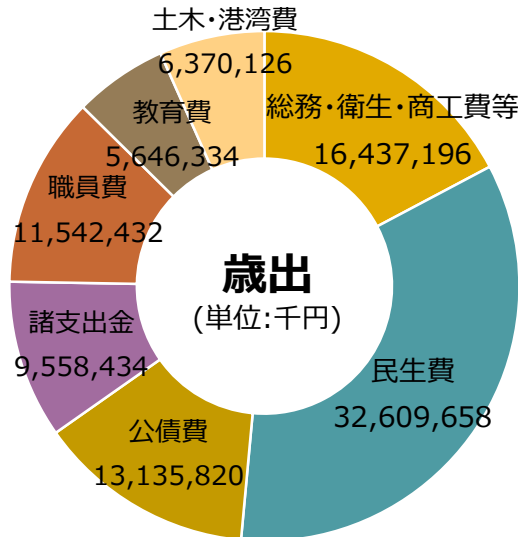
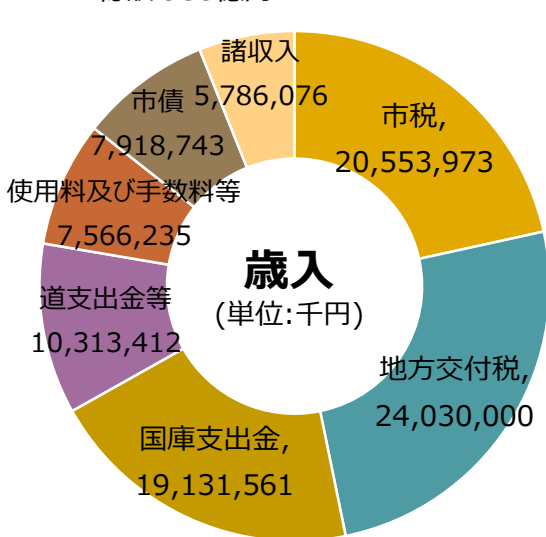
くしろの大空を舞うタンチョウ

## 財政

2019年度(平成31年度)当初予算 ～全会計総額 1,753億711万2千円～

### ● 一般会計

～総額 953億円～



### ● 特別会計

～総額 379億7,976万3千円～

項目	金額 (単位:千円)
国民健康保険	16,870,350
阿寒診療所事業	449,660
音別診療所事業	296,042
後期高齢者医療	2,444,554
介護保険	16,992,860
保険事業勘定	122,712
介護サービス事業勘定	24,005
農業用簡易水道事業	282,415
魚揚場事業	121,638
駐車場事業	375,527
動物園事業	

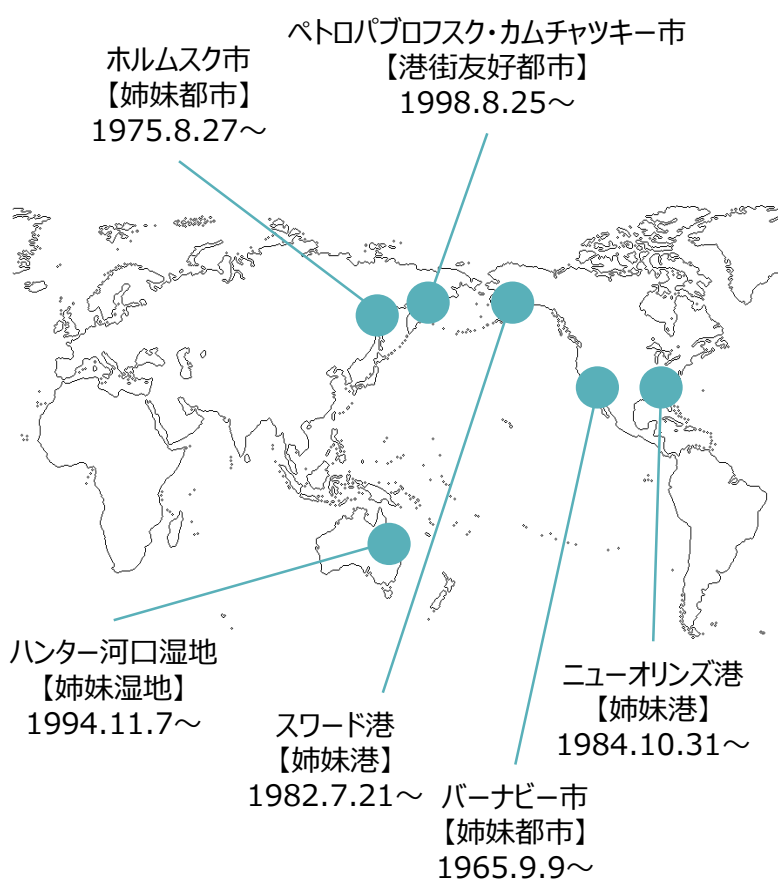
### ● 企業会計

～総額 420億2,734万9千円～

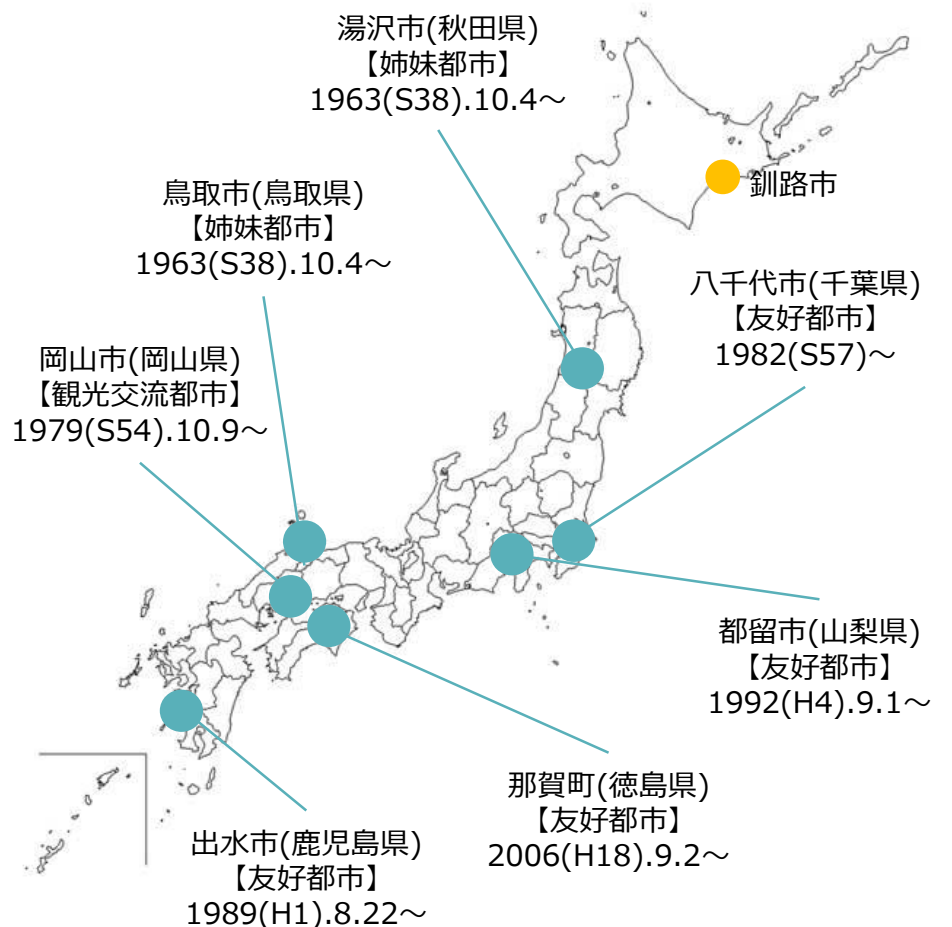
項目	金額 (単位:千円)
病院事業	18,688,025
水道事業	9,428,416
工業用水道事業	81,485
下水道事業	11,622,748
公設地方卸売市場事業	122,531
港湾整備事業	2,084,144

## 姉妹都市等

### ● 海外



### ● 国内



日本で唯一“生きたヤマ《炭鉱》”がある鉏路市

## 経済・産業

農業、林業、水産業の第1次産業、石炭鉱業、紙・パルプ製造業などの第2次産業、様々なサービスを提供する第3次産業が結びついて発展してきた生産都市です。

### ● 市内総生産額の推移 <資料：市都市経営課> (単位:千円,%)

項目	年度	金額			構成比			対前年度増減率	
		2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2013 (平成25)	2014 (平成26)
1.産業		491,800,056	498,864,431	491,456,679	85.5	85.6	85.0	1.4	△ 1.5
(1) 農業		3,402,203	3,461,312	3,920,599	0.6	0.6	0.7	1.7	13.3
(2) 林業		113,496	171,304	167,520	0.0	0.0	0.0	50.9	△ 2.2
(3) 水産業		5,155,426	5,238,294	6,928,757	0.9	0.9	1.2	1.6	32.3
(4) 鉱業		3,363,487	3,512,161	3,553,874	0.6	0.6	0.6	4.4	1.2
(5) 製造業		73,919,878	70,178,678	65,553,375	12.9	12.0	11.3	△ 5.1	△ 6.6
(6) 建設業		25,382,729	36,500,588	31,113,317	4.4	6.3	5.4	43.8	△ 14.8
(7) 電気・ガス・水道業		11,826,972	13,373,053	17,442,904	2.1	2.3	3.0	13.1	30.4
(8) 卸売・小売業		83,716,676	78,974,612	75,810,816	14.6	13.5	13.1	△ 5.7	△ 4.0
(9) 金融・保険業		25,210,389	24,695,921	24,919,580	4.4	4.2	4.3	△ 2.0	0.9
(10) 不動産業		74,819,085	73,597,332	73,590,505	13.0	12.6	12.7	△ 1.6	△ 0.0
(11) 運輸業		39,732,177	42,103,837	42,617,293	6.9	7.2	7.4	6.0	1.2
(12) 情報通信業		11,760,882	10,968,023	10,361,074	2.0	1.9	1.8	△ 6.7	△ 5.5
(13) サービス業		133,396,656	136,089,316	135,477,065	23.2	23.3	23.4	2.0	△ 0.4
2.政府サービス生産者		67,943,589	68,121,568	71,380,012	11.8	11.7	12.4	0.3	4.8
(1) 電気・ガス・水道業		2,487,073	2,744,489	3,513,704	0.4	0.5	0.6	10.4	28.0
(2) サービス業		17,896,729	17,522,086	17,635,806	3.1	3.0	3.1	△ 2.1	0.6
(3) 公務		47,559,787	47,854,993	50,230,502	8.3	8.2	8.7	0.6	5.0
3.対家計民間非営利サービス生産者		13,928,369	14,135,979	14,932,988	2.4	2.4	2.6	1.5	5.6
4.小計(1+2+3)		573,672,014	581,121,978	577,769,679	99.7	99.7	100.0	1.3	△ 0.6
5.輸入品に課される税・関税		4,467,998	4,856,679	4,395,254	0.8	0.8	0.8	8.7	△ 9.5
6.総資本形成に係る消費税		△ 2,898,938	△ 3,081,805	△ 4,219,749	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.7	△ 6.3	△ 36.9
合計(4+5+6)		575,241,074	582,896,852	577,945,184	100.0	100.0	100.0	1.3	△ 0.8

### ● 産業別民営事業所数・従業者数の推移 <資料：市都市経営課> (単位:事業所,人,%)

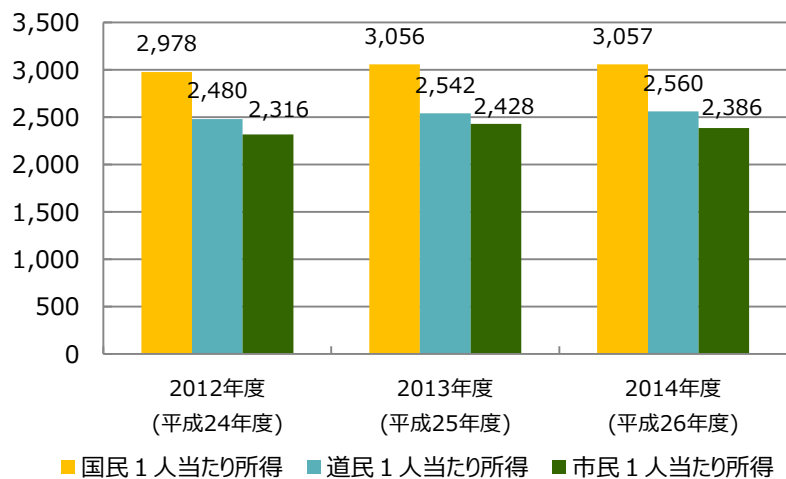
産業分類	2014年(平成26年)7月1日		2016年(平成28年)6月1日		増減数		増減率	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
全産業	8,629	72,961	8,268	70,112	△ 361	△ 2,849	△ 4.2	△ 3.9
農業・林業・漁業	45	567	46	572	1	5	2.2	0.9
鉱業、採石業、砂利採取業	9	429	10	438	1	9	11.1	2.1
建設業	723	5,596	712	5,489	△ 11	△ 107	△ 1.5	△ 1.9
製造業	364	6,077	340	5,938	△ 24	△ 139	△ 6.6	△ 2.3
電気・ガス・熱供給・水道業	11	383	13	384	2	1	18.2	0.3
情報通信業	60	456	47	392	△ 13	△ 64	△ 21.7	△ 14.0
運輸業、郵便業	291	5,837	283	5,773	△ 8	△ 64	△ 2.7	△ 1.1
卸売業、小売業	2,051	15,700	1,970	15,110	△ 81	△ 590	△ 3.9	△ 3.8
金融業、保険業	197	2,324	188	2,159	△ 9	△ 165	△ 4.6	△ 7.1
不動産業、物品賃貸業	837	1,979	785	1,875	△ 52	△ 104	△ 6.2	△ 5.3
宿泊業、飲食サービス業	1,448	8,060	1,353	7,786	△ 95	△ 274	△ 6.6	△ 3.4
教育、学習支援業	215	1,670	204	1,548	△ 11	△ 122	△ 5.1	△ 7.3
医療、福祉	633	11,585	632	11,289	△ 1	△ 296	△ 0.2	△ 2.6
複合サービス事業	47	546	46	543	△ 1	△ 3	△ 2.1	△ 0.5
サービス業等	1,698	11,752	1,639	10,816	△ 59	△ 936	△ 3.5	△ 8.0



日本有数の漁場と漁獲量、釧路の魚は脂ノ抜群

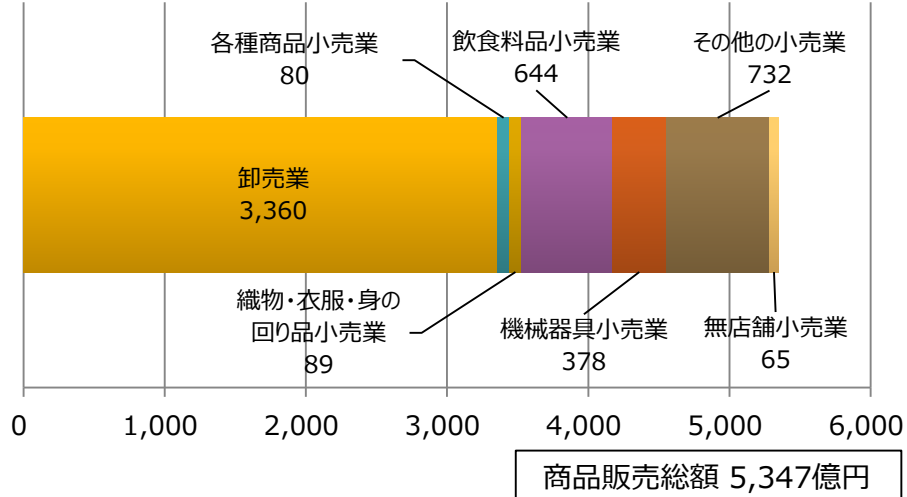
### ● 国民・道民・市民1人当たりの所得比較

＜資料：内閣府「県民経済計算」、市都市経営課＞(単位:千円)



### ● 商品販売額・・・2016年(平成28年)6月1日現在

＜資料：市都市経営課＞(単位:億円)



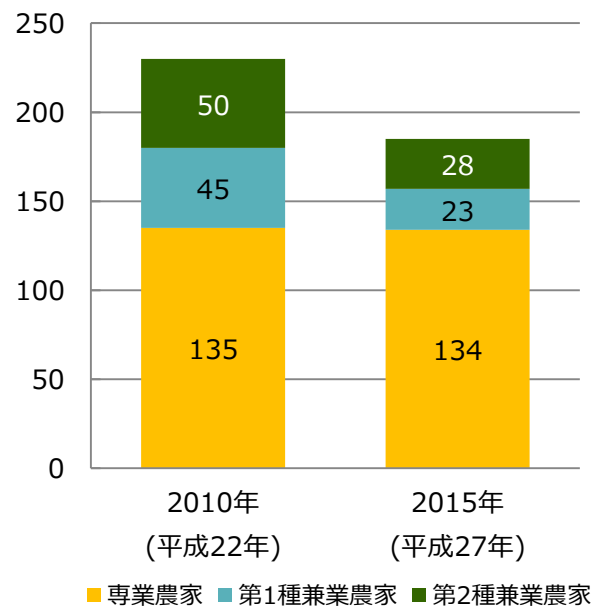
### ● 魚種別漁獲高

＜資料：市水産課＞(単位:t,千円,%)

魚種別	数量		金額	
	2016年(平成28年)	2017年(平成29年)	2016年(平成28年)	2017年(平成29年)
合計	114,207	139,678	10,099,229	10,203,667
すけとうだら	39,487	41,087	2,296,624	2,165,141
まだら	6,378	7,404	1,563,395	1,918,351
さんま	5,659	2,740	1,004,696	826,415
いか	1,468	45	728,045	13,887
かれい類	526	665	230,714	225,402
さけ・ます類	138	79	81,800	51,109
赤物	117	131	193,017	256,582
ほっけ	1	0	984	129
さば	6,661	7,653	761,320	659,566
いわし	49,471	76,793	2,096,873	3,170,909
ししゃも	170	100	290,996	204,717
その他	4,131	2,981	850,765	711,459

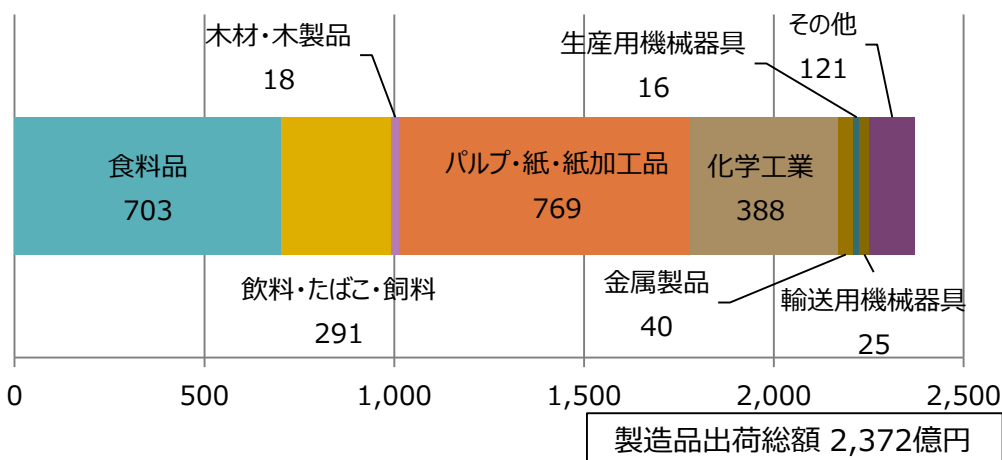
### ● 専業・兼業別農家数

＜資料：農林業センサス＞(単位:戸)



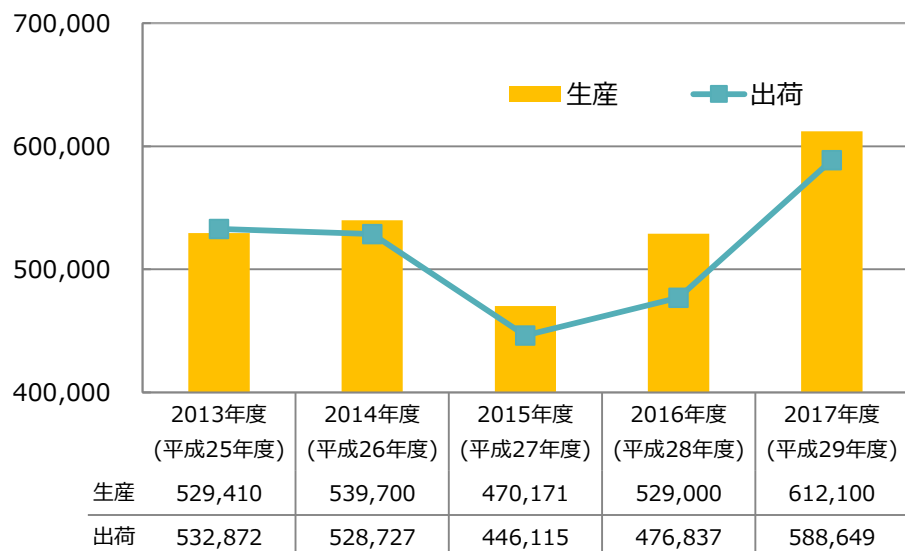
### ● 製造品出荷額等・・・2016年(平成28年)

＜資料：市都市経営課＞(単位:億円)



### ● 出炭状況

＜資料：釧路コールマイン(株)＞(単位:t)





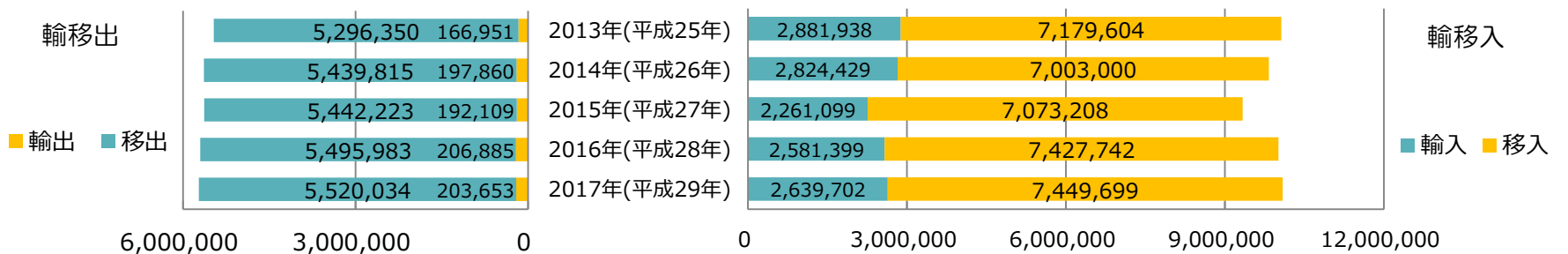
# 観光・港湾・空港

神秘のマリモを育む阿寒湖

## ● 観光客入込数 <資料：市観光振興室・阿寒観光振興課・音別町行政センター地域振興課> (単位:人)

年度	総数	釧路地区		阿寒地区		音別地区	
		道内	道外	道内	道外	道内	道外
2013 (平成25)	3,526,298	1,699,137	752,516	593,774	473,684	6,770	417
2014 (平成26)	3,917,837	1,913,772	863,668	641,132	490,488	8,223	554
2015 (平成27)	4,256,216	2,114,650	923,086	672,993	536,326	8,655	506
2016 (平成28)	4,599,669	2,356,448	1,056,037	660,025	518,585	7,858	716
2017 (平成29)	5,239,429	2,496,637	1,099,667	1,085,401	549,337	7,710	677

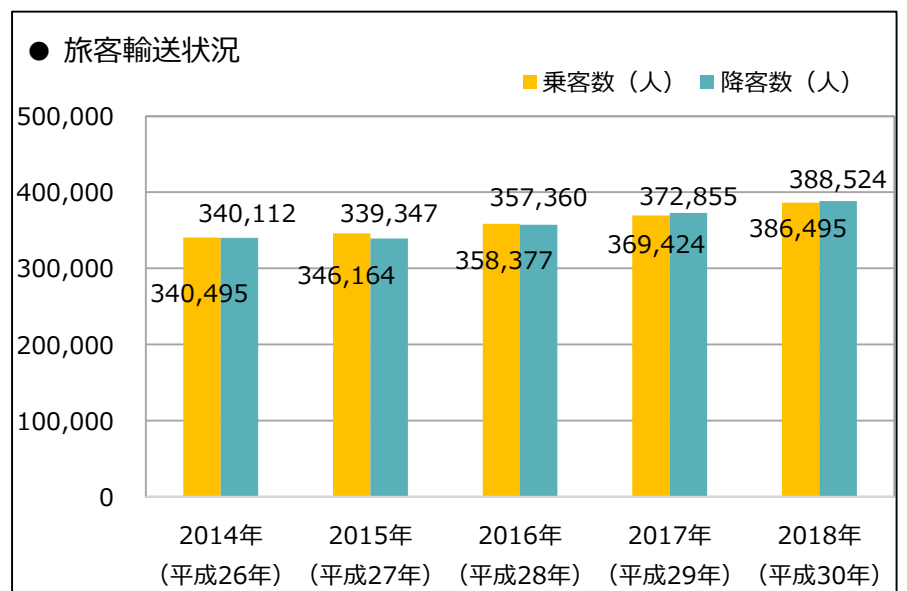
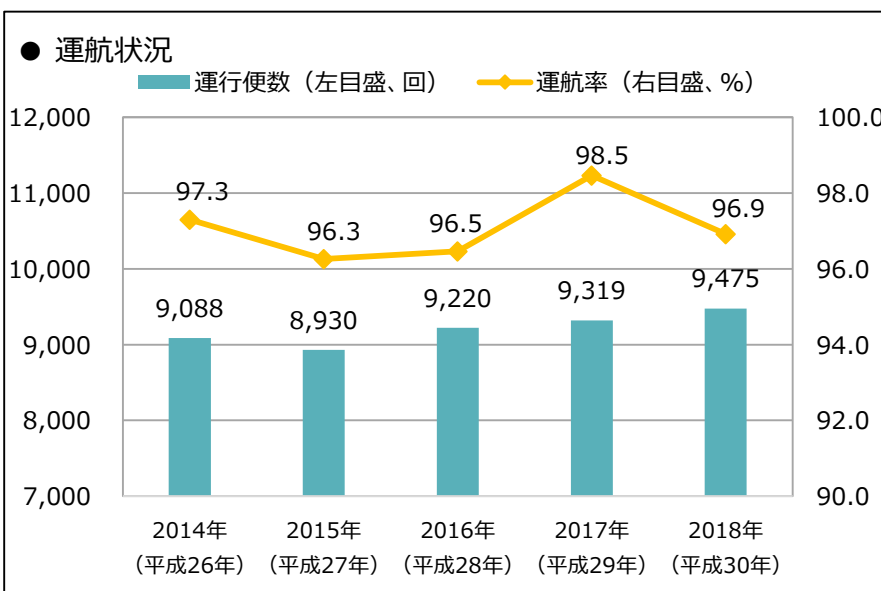
## ● 港湾貨物取扱量 <資料：釧路市港湾空港振興課「港湾統計調査」> (単位:t)



## ● 入港船舶数、総トン数 <資料：市港湾空港振興課「港湾統計調査」> (単位:隻,t)

年	合計		外航商船				内航商船		漁船		その他	
	隻数	総トン数	総数		うち外国船		隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
			隻数	総トン数	隻数	総トン数						
2013 (平成25)	15,293	15,970,897	328	4,136,479	328	4,136,479	2,611	11,212,466	11,926	328,610	428	293,342
2014 (平成26)	15,601	17,117,729	343	5,317,734	343	5,317,734	2,534	11,169,850	12,396	415,510	328	214,635
2015 (平成27)	16,261	16,758,416	348	4,382,865	348	4,382,865	2,531	11,679,799	13,038	418,880	344	276,872
2016 (平成28)	11,278	17,412,042	365	4,864,898	365	4,864,898	2,760	11,907,640	7,818	356,105	335	283,399
2017 (平成29)	10,782	17,966,824	339	5,029,641	339	5,029,641	2,638	12,254,999	7,501	363,475	304	318,709

## ● 空港利用状況 <資料：東京航空局釧路空港事務所>



# 環境・衛生・医療

森と水の楽園「釧路湿原国立公園」

## ● 都市公園の整備状況 <資料：市公園緑地課> (単位:箇所,ha)

年度	総合計		総合公園		広域公園		運動公園		都市緑地		街区公園				近隣公園		地区公園		特殊公園	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	幼児公園		児童公園		箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
											箇所	面積	箇所	面積						
2013 (平成25)	251	395.82	4	156.00	-	-	1	66.55	22	83.05	55	2.46	149	38.03	14	24.00	5	25.10	1	0.63
2014 (平成26)	251	395.82	4	156.00	-	-	1	66.55	22	83.05	55	2.46	149	38.03	14	24.00	5	25.10	1	0.63
2015 (平成27)	251	397.92	4	156.00	-	-	1	66.55	22	83.05	55	2.46	149	38.03	14	24.00	5	27.20	1	0.63
2016 (平成28)	252	398.23	4	156.00	-	-	1	66.55	22	83.05	55	2.46	150	38.34	14	24.00	5	27.20	1	0.63
2017 (平成29)	254	398.65	4	156.00	-	-	1	66.55	22	83.13	55	2.46	151	38.60	15	24.08	5	27.20	1	0.63

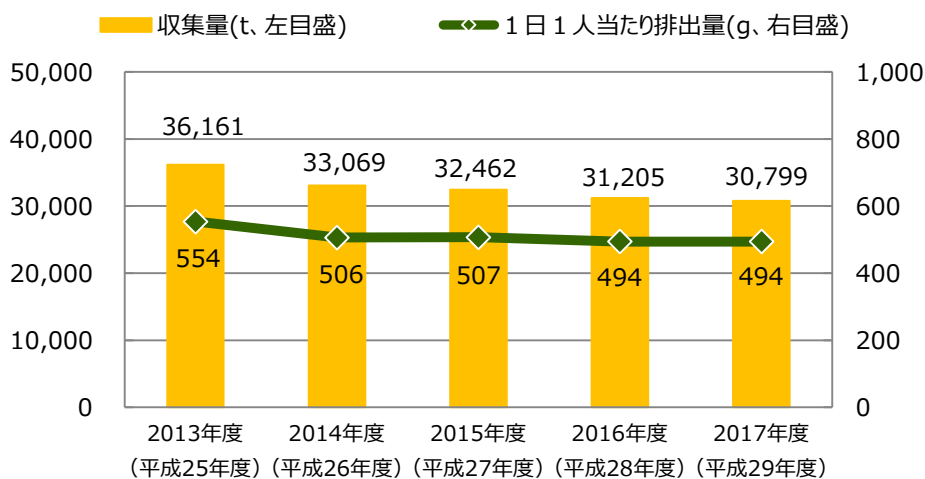
## ● 水道普及状況 <資料：市上下水道部> (単位:人,%,m)

年度	給水区域内人口	給水人口	普及率	導送配水管延長
2013 (平成25)	194,628	194,492	99.9	1,137,736
2014 (平成26)	192,773	192,636	99.9	1,139,830
2015 (平成27)	190,806	190,708	99.9	1,144,631
2016 (平成28)	188,940	188,831	99.9	1,146,698
2017 (平成29)	186,495	186,389	99.9	1,156,523

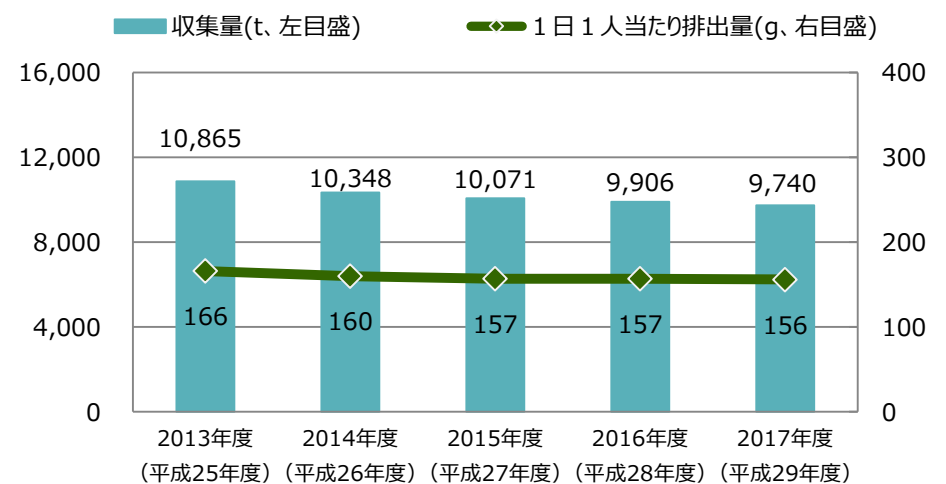
## ● 下水道普及状況 <資料：市上下水道部> (単位:ha,千人,km,千m<sup>3</sup>)

年度	整備面積	整備人口	処理面積	処理人口	管渠延長	処理下水量 日平均
2013 (平成25)	4,538	175.7	4,537.7	175.7	1,471.3	69.3
2014 (平成26)	4,539	174.1	4,538.8	174.1	1,475.2	68.7
2015 (平成27)	4,539	172.4	4,539.0	172.4	1,476.2	67.7
2016 (平成28)	4,540	170.6	4,540.0	170.6	1,476.8	67.2
2017 (平成29)	4,542	168.3	4,541.5	168.3	1,477.6	67.0

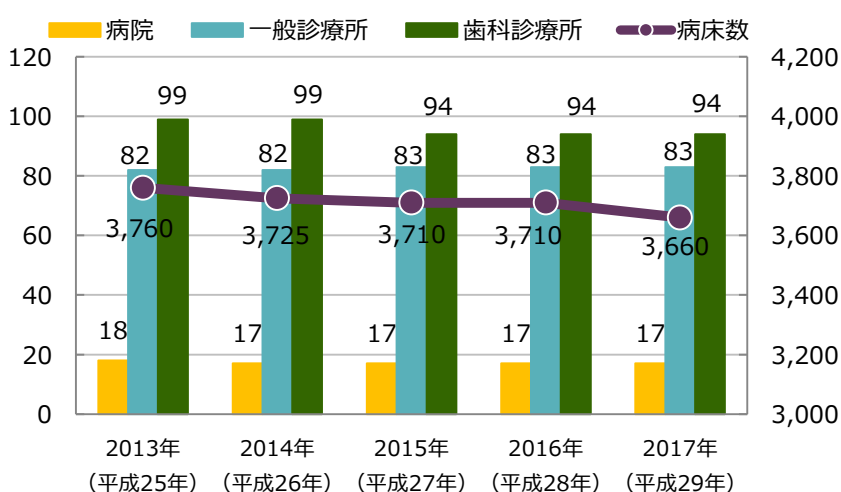
## ● ごみ収集状況 <資料：市環境事業課>



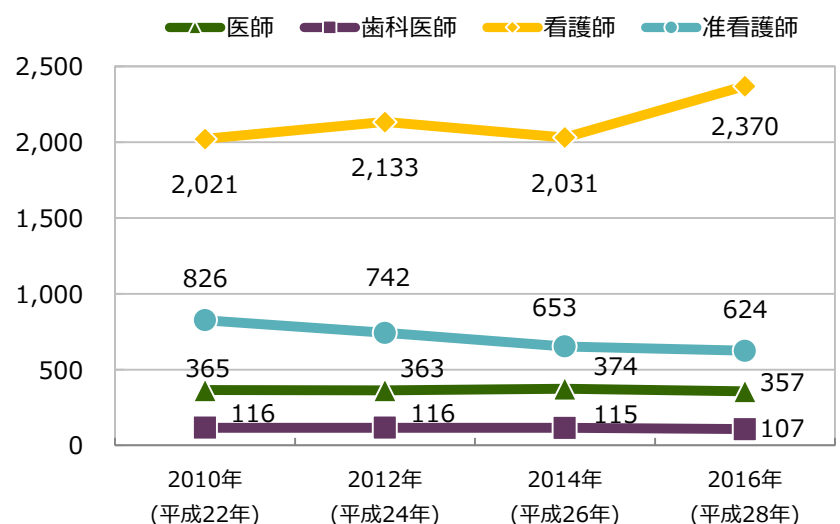
## ● 資源物収集状況 <資料：市環境事業課>



## ● 医療施設数の推移 <資料：釧路保健所> (単位:施設,床)



## ● 医療従事者数の推移 <資料：釧路保健所> (単位:人)





# 教育・福祉

釧路公立大学を有する釧路市

## ● 市内各学校の概要・・・2018年(平成30年)5月1日現在 <資料：市都市経営課> (単位:箇所,学級,人)

	学校数	学級数	教員数	児童・生徒数
幼稚園	26	112	202	2,094
幼保連携型認定こども園	3	12	66	279
小学校	27	372	614	7,729
中学校	17	169	357	4,120
高等学校	8	124	363	4,418

	学校名	学科・学級数	教員数	生徒数
大学・短大・高専 その他の学校	釧路工業高等専門学校	8	76	839
	釧路短期大学	2	17	190
	北海道教育大学釧路校	9 (3)	60	791 (32)
	釧路公立大学	2	39	1,365
	釧路鶴野支援学校	14	44	72
	釧路養護学校	44	105	183

( ) は大学院で内数

## ● 図書館利用状況 <資料：市教育委員会生涯学習課> (単位:日,冊,人)

年度	合計		本館 (市立釧路図書館)			分館 (※2)		分室 (※3)	
	貸出冊数	貸出人員	開館日数	貸出冊数	貸出人員	貸出冊数	貸出人員	貸出冊数	貸出人員
2013 (平成25)	798,666	171,186	301	380,512	79,460	380,180	84,209	37,974	7,517
2014 (平成26)	728,668	160,119	297	348,638	74,689	345,076	78,272	34,954	7,158
2015 (平成27)	710,648	158,169	298	344,301	74,535	333,140	77,034	33,207	6,600
2016 (平成28)	673,336	150,025	295	310,431	65,601	330,041	77,815	32,864	6,609
2017 (平成29) ※1	618,079	142,895	201	211,790	51,269	373,641	85,456	32,648	6,170

(※1) 2017(平成29)年度は、図書館移転に伴い10～1月の4ヶ月間を休館としている。

(※2) 釧路市西部、東部、中部の各地区図書館及び釧路市音別町ふれあい図書館

(※3) 釧路市阿寒町公民館図書室

## ● 保育所の概要・・・2018年(平成30年)4月1日現在

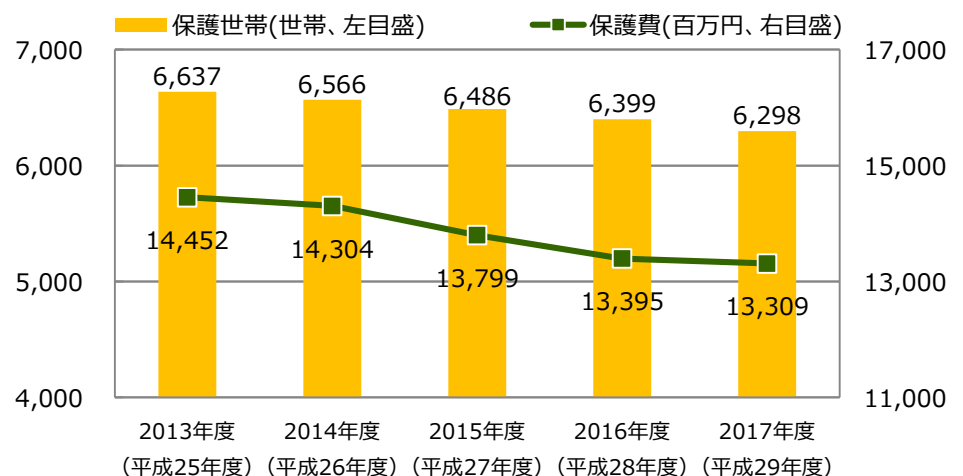
<資料：市こども育成課、阿寒・音別町行政センター保健福祉課>

(単位:箇所,人)

	施設数	職員数	定員	入所児童数	入所児童数					
					0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
総数	20	267	1,385	1,229	64	186	224	255	253	247
うち公立	7	85	465	325	11	46	58	71	71	68
うち法人立	13	182	920	904	53	140	166	184	182	179

## ● 生活保護受給状況

<資料：市生活福祉事務所、阿寒・音別町行政センター保健福祉課>



## ● 釧路市の歴史（寛政～昭和）

寛政（1789-1801）	
11年	<旧釧路市> 幕府の直接経営となり釧路川口にクスリ会所・旅宿所・酒造所が設けられる。 <旧音別町> 幕府は、尺別に通行屋(旅宿所)を設ける。

文化（1804-1817）	
元年	<旧阿寒町> 阿寒アイヌの居住について文献に出る。

安政（1854-1860）	
2年	<旧釧路市> 前の年箱館(函館)が開港場となり、この年から幕府は再びこの地を直接経営する。本州から漁場へ働きにくる人はますます多くなり、アイヌ人口は減り始める。

明治（1868-1912）	
2年	<旧釧路市> 蝦夷地は北海道、クスリは釧路と改称され、釧路国釧路郡の名が定まる。 <旧阿寒町> 釧路国阿寒郡の名称確定、阿寒郡は兵部省の直轄下に入る。 <旧音別町> 音別は釧路国白糠郡に属す。
17年	<旧釧路市> 鳥取県旧土族が移住し、鳥取村が設けられる。
20年	<旧釧路市> 当時の春鳥の石炭を掘り始める。
22年	<旧阿寒町> 内地からの移住始まる。
30年	<旧阿寒町> 阿寒湖で「マリモ」発見。
31年	<旧音別町> 直別原野から入植者の入地がはじまる。
33年	<旧釧路市> 北海道一級町村制が施行され釧路町(人口10,309人)が誕生する。道内初の製紙工場(前田製紙)ができる。初代幣舞橋が国費でかけられる。
34年	<旧釧路市> 釧路－白糠間に鉄道が開通する。(明治40年には旭川経由で函館まで開通)
36年	<旧音別町> 官設鉄道釧路線が音別まで開通。音別駅ができ、営業を開始する。
39年	<旧阿寒町> 前田正名阿寒湖畔に入り開発に着手。
42年	<旧釧路市> 釧路に近代港湾を建設する予算が帝国議会を通過し、港湾修築工事が始まる。(釧路は北海道東部の鉄道・汽船輸送の結節点となる)

大正（1912-1926）	
4年	<旧釧路市> マグロの水揚げが盛んで、東京へ出荷される。
7年	<旧音別町> 尺別炭砒が開坑。
8年	<旧音別町> 二級町村制が敷かれ、尺別村役場となる。
9年	<旧釧路市> 北海道区制が施行され、釧路区(人口39,392人)が誕生する。この時釧路村を分村する。太平洋炭礦が開業し、富士製紙は鳥取の新工場操業を始める。

9年	<旧釧路市> 東北・北海道に長雨があり、釧路川・阿寒川が氾濫して大洪水となる。(釧路川に合流していた阿寒川は分離して独立した河川となる) <旧阿寒町> 北海炭砒株式会社(雄別炭砒株式会社)創業。
10年	<旧阿寒町> マリモが天然記念物に指定。
11年	<旧釧路市> 市制が施行され、釧路市が誕生する。(人口42,673人) <旧音別町> 尺別村が音別村に改称。
12年	<旧阿寒町> 2級町村制施行。
14年	<旧釧路市> 四代目幣舞橋を永久橋とする工事が始まる。(完成は昭和3年)

昭和（1926-1989）	
9年	<旧阿寒町> 阿寒国立公園指定。
18年	<旧釧路市> 鳥取村に町制が施行され、鳥取町が誕生する。 <旧音別町> 1・2級町村制が廃止され、北海道指定村となる。
19年	<旧音別町> 音別炭砒・尺別炭砒が休坑。
21年	<旧阿寒町> 雄別炭砒三菱から分離。 <旧音別町> 尺別炭砒が復活。
24年	<旧釧路市> 釧路市と鳥取町及び白糠町の一部が合併。(人口85,180人) 北海道学芸大学釧路分校(現北海道教育大釧路校)開学。
27年	<共通> タンチョウが国の特別天然記念物となる。 <旧阿寒町> 阿寒湖のマリモが国の特別天然記念物となる。
32年	<旧阿寒町> 町制施行。阿寒町となる。
34年	<旧釧路市> 本州製紙釧路工場が操業開始。 <旧音別町> 町制施行。音別町となる。
35年	<旧釧路市> 釧路空港が完成、釧路－帯広－札幌線開設。
39年	<旧釧路市> 釧路女子短期大学(現釧路短期大学)開学。
40年	<旧釧路市> 国立釧路高等工業専門学校開学。
44年	<旧釧路市> 魚の水揚量、全国一を記録する。
45年	<旧阿寒町> 雄別炭砒閉山。 <旧音別町> 尺別炭砒閉山。
50年	<旧釧路市> 国勢調査で市の人口が20万人を超える。
51年	<旧釧路市> 五代目幣舞橋が完成し、翌年「道東の四季像」除幕。
52年	<旧阿寒町> タンチョウ観察センターオープン。
53年	<旧阿寒町> マリモ展示観察センターオープン。
59年	<旧釧路市> たんちょう国体(冬期スケート競技会)開催。
62年	<旧釧路市> 釧路湿原が28番目の国立公園となる。
63年	<共通> 釧路公立大学開学。

## ● 釧路市の歴史（平成～）

平成 (1989-2019)	
元年	<旧釧路市> 釧路フィッシャーマンズワーフがオープン。
2年	<旧釧路市> スイスの第4回ラムサル条約締約国会議で、第5回会議(平成5年)を釧路市開催と決定。
4年	<旧音別町> 音別町ふれあい図書館新築落成。
5年	<共通> 釧路沖地震。 <旧釧路市> 第5回ラムサル条約締約国会議開催。
6年	<共通> 北海道東方沖地震。 <旧釧路市> 国際会議観光都市認定。
7年	<旧釧路市> 地方拠点都市地域指定。 シマフクロウの人工増殖に世界で初めて成功。
8年	<旧阿寒町> マリモ展示観察センター(トーラサンペ)リニューアル。国際ツルセンター(グルス)新築落成。
9年	<旧釧路市> 第52回くしろ湿原国体(冬季スケート大会)開催。 振子式特急「スーパーおおぞら」が釧路・札幌間で運行を開始。
13年	<旧釧路市> 釧路川名称復活。(「旧釧路川」から「釧路川」へ)
14年	<旧釧路市> 釧路港西港第4埠頭一部供用開始。(道東初の14m岸壁) 釧路工業技術センター開設。 <共通> 十勝沖地震発生。
16年	<旧釧路市> 市民活動センター「わっと」オープン。
17年	<共通> 北海道横断自動車道(本別～釧路間)の工事着工。 ☆釧路市、阿寒町、音別町が合併し、新生「釧路市」が誕生する。 釧路市こども遊学館オープン。

18年	第1回日中韓観光大臣会合が阿寒湖温泉で開催される。
19年	西消防署音別支署・音別町コミュニティセンターがオープン。
20年	千代ノ浦マリパークがオープン。 総合体育館 湿原の風アリーナ釧路がオープン。
21年	阿寒湖まりむ館がオープン。 ドクターヘリの運航が開始。 第65回国民体育大会冬季大会(スケート競技会・アイスホッケー競技会)開催。
22年	小型惑星探査機はやぶさのカプセルが展示される。 釧路市事業仕分けを実施。
23年	釧路港が国際バルク戦略港湾に選定される。 釧路市動物園で飼育されていた2羽のタンチョウが、台北市動物園に無償貸与される。 東北地方太平洋沖地震発生。
24年	阿寒湖アイヌシアター「イコロ」がオープン。 台湾の復興航空による国際定期便が就航。
25年	エア・ドゥ釧路－羽田線を開設。 市民の寄付により釧路市動物園に4年ぶりにキリンを展示。
26年	釧路市連合町内会と釧路市との連携基本協定を締結。 武修館高校、釧路勢35年ぶりの甲子園出場。 音別町行政センター新庁舎落成。
27年	釧路市役所防災庁舎落成。
28年	道東自動車道 白糠IC～阿寒IC間開通。
29年	「阿寒国立公園」から「阿寒摩周国立公園」に名称が変更される。
30年	Peach釧路－大阪(関西)線を開設。 国際バルク戦略港湾の施設整備が完了。

## ● 釧路市の歌

2006年(平成18年)10月11日制定

釧路市の歌

宮川正男 作詞  
廣瀬量平 作曲

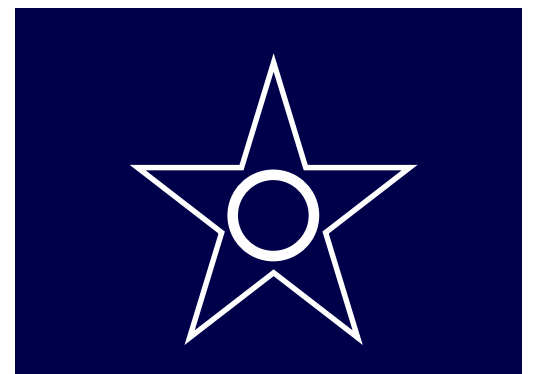
一、霧の都に 住むわれら  
求める道を 一筋に  
手を携えて 手を携えて  
文化を築く 力湧き  
喜びあふれ 花咲き香る  
釧路の風は 日々新しく

二、水辺のまちに 住むわれら  
暮らしを創る 灯をかかげ  
生産基地の 生産基地の 知恵と技  
光の大地 実り満ち  
潮路はるかに 幸を求めて  
釧路の海は 日々新しく

三、星降る里に 住むわれら  
歴史に学び 誇りある  
祖先の意志を 祖先の意志を 受け継いで  
明日の栄えと 幸せを  
きざむ礎 輝き増して  
釧路の人は 日々新しく

## ● 市章

2005年(平成17年)釧路市、阿寒町、音別町協議



【市章】

外側の星は北極星を、内側の円はクシロを意味する腕輪を表し、北海道を象徴する北極星に囲まれ、釧路市が栄えることを祈って作られました。



# 交通アクセス

※時間はおよその所要時間

## ●道東自動車道

- ・札幌から  
4時間7分

## ●鉄道（JR）

- ・札幌から  
4時間（6往復）
- ・網走から  
3時間30分（5往復）
- ・根室から  
2時間30分（6往復）

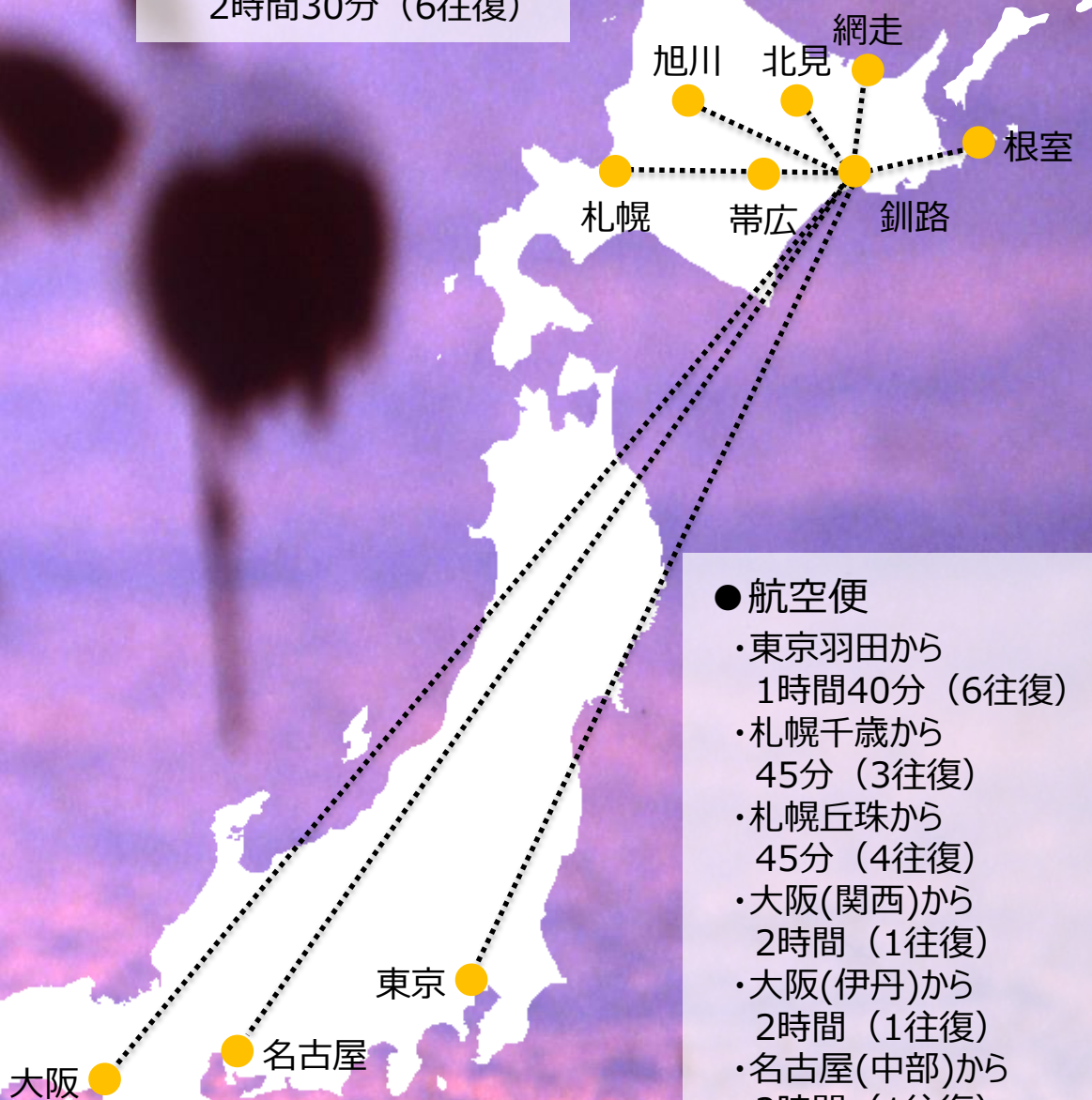
## ●都市間バス

- ・札幌から  
5時間（9往復）
- ・旭川から  
7時間（2往復）
- ・北見から  
3時間（2往復）
- ・根室から  
3時間（3往復）

## ●航空便

- ・東京羽田から  
1時間40分（6往復）
- ・札幌千歳から  
45分（3往復）
- ・札幌丘珠から  
45分（4往復）
- ・大阪(関西)から  
2時間（1往復）
- ・大阪(伊丹)から  
2時間（1往復）
- ・名古屋(中部)から  
2時間（1往復）

※大阪(伊丹)便は7・8月運行予定  
※名古屋(中部)便は8月運行予定



鉏路といふ  
異国

